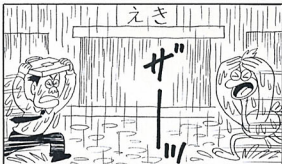
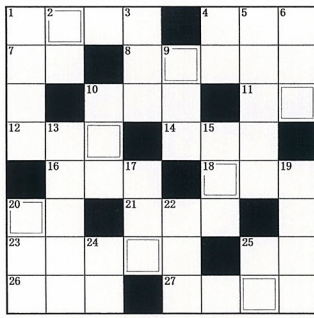


# わが家のニッコ

金巻とよじ



まちがいさがし  
 ①後方右端の木 ②右のチョウ ③少年の胸のマーク ④大きな木の幹  
 ⑤左端の鳥の尾羽 ⑥お父さんのズボのすそ ⑦のこぎり



# 今月の懸賞 クロスワードパズル

puzzle 出題◆佐久みつる

## ヒント

有機栽培の農作物や、添加物を加えない加工食品など、最近の健康志向を背景にして素材を問題とする食べ物への関心が高まっています。さて、今月のクロスワードを解いてください。二重枠のマスの中に、これと関係のある言葉が出てきます。何でしょう？

## タテのカギ

- 1 梅雨時に咲く「七変化」とも呼ばれる花。
- 2 クオリティー。
- 3 急に降つて、すぐにやむ一雨。
- 4 着せがましい態度。
- 5 心のしりこり。
- 6 メリツト。
- 9 思わす言葉に詰まる。
- 10 それとなく様子を探ること。
- 13 スターなどの商品用写真。
- 17 部屋への替えをする。
- 15 旅行にかかる費用。
- 19 万事。もはやこれまで。
- 20 介護に必要なイース。
- 22 主要産地。納豆の「は茨城」。
- 24 「貧。だんだん悪い状態になる。」プロ。社会人野球。

## 応募のきまぐれ

今月の懸賞 クロスワードパズルの答えが分つた方は、官製ハガキの「クロワード」の答えへ、①氏名、②年齢、③電話番号、④本紙に対するご意見、ご感想、の該当販売店名をお書き添えの上、〒950-0916 中央区米山5-9-14 NICC駅南内 TAKEAWALK編集室「クロスワードパズル」係までご応募ください。正解者の中から抽選で9名のた図書カードを差し上げます。応募締切は6月10日必着です。

## 先月号の答え

### 【カンコンソウサイ (冠婚葬祭)】

サ	カ	ズ	キ	タ	ニ	シ
ホ	ウ	リ	コ	ヤ	ス	キ
ユ	ウ	ガ	タ	ジ	ン	
オ	ウ	ツ	ジ	ユ	フ	
サ	ス	ペ	ン	ス	シ	ク
タ	カ	ラ	イ	シ	ヨ	ク

先月号の当選者  
 ●増崎千代さん 中央区日の出  
 ●杉浦理絵さん 中央区区西  
 ●右塚理絵さん 中央区区西  
 ●松谷恵子さん 中央区区西  
 ●池田和輝さん 中央区区西  
 ●中村美穂さん 中央区区上  
 ●杉浦美穂さん 中央区区西  
 ●二本柳友子さん 中央区区西  
 ●高野良子さん 中央区区西  
 ●木村麻由さん 秋葉区三枚通

## ヨコのカギ

- 1 に火がつく。危険が身边に迫つてく。
- 4 一よければすべてよし。
- 7 名よりも。中身が大事。
- 8 下準備をすること。
- 10 これがトップだと首打打者。
- 11 極まって涙を流す。
- 12 華やかさはないが、味わいのある銀の芸。
- 14 雲の切れたところ。
- 16 ロジック。
- 18 江戸時代の警察。同心の上役。
- 20 児童文学「のプーさん」。
- 21 天気「よれば明日は雨似て非なるもの」。
- 25 一あるタカはツを隠す。
- 26 家の中の部屋の配置。
- 27 均衡。食事もこれが大切。

## 新潟日報 新潟南地区会

- NIC万代 244-5490 (井村 充)
- NIC上所 285-1646 (羽田野剛司)
- NIC駅南 244-7613 (渡辺 和彦)
- NICとやの 244-3476 (長谷川則之)
- NIC県庁前 283-1255 (高橋 康一)
- NIC女池 284-5549 (伊藤 悦男)
- NIC愛宕 283-1660 (長浜 悦男)
- NIC宮野木 284-8439 (風間 栄七)
- NIC新潟南 280-2141 (田中 緑)

## 興奮だった恐竜大陸 in 幕張メッセ

今回、初めての県外取材で幕張メッセまで行ってきました。なれない電車での移動にドキドキ。電車から見た幕張メッセの大きさにドキドキ。そして会場いっぱい展示された恐竜の全身骨格にドキドキしました。朱鷺メッセでの開幕はもう目前! 皆さんもドキドキしませんか?

紙面に関するお問い合わせ・広告のお申し込み  
 NIC 駅南 TEL.244-7613 (渡辺)

## 巣箱作り 7つのまちがいさがし

●右と左の絵が7カ所違います。探してみてください。

作・絵◆伊藤正

### 中川善紀さんの「座右の名馬」

◆地域の自慢は? ◆趣味・特技は? ◆映画・音楽鑑賞

人です。

### 日吉町自治会会長 中川 善紀さん

私たちが暮らす南地区のまちが、各地区で活躍されている方々に話を聞きます。

第31回

日吉町自治会の構成世帯は2,432世帯のうち140世帯がアパートなどです。地理的には新潟駅の東方向、徒歩20分ほどになる沼垂地区。地震の前までは繁華な街でしたが、今は比較的閑静な住宅街に変身してきています。

「住んでよかった街づくり」を標榜し、役員をはじめとして専門部「青年・婦人・瑞穂補選」が中心となつて、いろいろな行事を実施しております。新年会や花見会、沼垂まわり、敬老会などを通じ、若者男女が集い、親睦を図りながら自主防災に役立つような方策も考えて推進しております。

専門部独自の活動も活発で、古紙回収や灯油の共同購入、薬剤散布、豆まきなどなど、これらの活動の認められ、市長からの感謝状を二度受賞しております。

今後、層住んで良かったと言われるような街づくりを進めていきたいと思えます。